

社会資本総合整備計画書

根羽村月瀬地区都市再生整備計画

平成26年7月30日

長野県 根羽村

平成27年 1月7日

交付対象事業															
A1 都市再生整備計画事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					交付事業 額(百万円)	備考
									目	目	目	目	目		
A-1-1	都市再生	一般	根羽村	直接	根羽村	根羽村月瀬地区都市再生整備計画事業	延長1.0km 面積6,000㎡	根羽村	24	25	26	27	28	397.0	
									合計					397.0	

に 効果促進事業																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					事業実施費 （百万円）	備考			
									Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ					
									合計									

(参考図面)

計画の名称	根羽村月瀬地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度 (5年間)	交付対象	根羽村



凡 例	
	1-A1-1 月瀬地区都市再生整備計画

都市再生整備計画

つきぜ
月瀬地区

ながの ねばむら
長野県 根羽村

平成26年7月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長野県	市町村名	根羽村	地区名	月瀬地区	面積	2,360 ha
計画期間	平成 24 年度 ～ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ～ 平成 28 年度				

目標

- 大目標：親しみともてなしの心を感じる“美しい村”づくり（根羽桃源郷の創設）
- ①『月瀬の大杉』を中心とした月瀬地区の歴史的資源や自然の保全・活用により、観光客流入人口の増加を図る。
 - ②既存の観光スポットとの連携を図り、交流人口の拡大や村の魅力発信により地域の活性化を図る。
 - ③村の魅力を今まで以上に感じてもらうため、観光地における宿泊地における宿泊施設を整備して宿泊客の拡大を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

根羽村南部の茶臼山周辺は、豊かな緑や矢作川の源流、天然記念物ネバタゴガエルの生息地など、豊かな自然を活かした観光スポットとなっている。一方、根羽村北部には、レストランや市場、宿泊施設、多目的ホール等を有する観光施設「ネバーランド」を整備し、村の情報発信の拠点として順調に運営がなされている。

本地区は、これらとを結ぶ観光ネットワークの結節点にあたる村のほぼ中央に位置しており、樹齢1800年の国指定天然記念物『月瀬の大杉』が堂々と聳え、その周辺には矢作川の清流と紅葉に彩られる美しい渓谷がほぼ手付かずの状態に残されている。

この『月瀬の大杉』は、駐車場や案内板等の不足にも関わらず、現在も4,000人/年の来訪者がある隠れた観光スポットであるが、ネバーランド来訪者の半数以上が『月瀬の大杉』は訪れたことが無い（H21年度観光客等意向調査の結果より）など大杉の知名度は高くない。

このようなことから、根羽村では、既存の観光スポットとの連携を図りつつ、秘められた地域資源を適正かつ有効に保全・活用して村の観光力を高め、地域活性化につなげていくため、平成21年度から2か年に渡って村民を委員とする「大杉魅力づくり検討会」を開催し、魅力づくりの方向性や事業化計画等について検討を行ってきた。

本地区は、「根羽村第4次総合計画」で位置づける根羽桃源郷の創設地区としてふさわしい条件を有している。また、検討会で、本地区周辺の修景整備に関する村民の自主協力の意志が示されるなど、本地区の魅力向上に対する村民の意向は高い。

なお、根羽村は、民間ツーリストと村が協働で観光バスツアー（子どもツアー・親子ツアー・茶臼山ツアー・矢作川ツアー）を企画し、村職員によるガイド、村民による郷土料理の提供を行うなど、すでに協働によるまちづくりが実践されている。

＜大杉魅力づくり検討会、観光客等意向調査の概要＞

- ・大杉魅力づくり検討会／村長はじめとする17名（地元5名、商工会等4名含む）をメンバーとする委員会。2ヶ年で4回開催。
- ・H21年度観光客等意向調査／対象者：観光客、ツアー客（子ども）、インストラクター。有効回答数：334件

課題

- 少子高齢化が進行する中で、小さくても元気な村づくりが課題である。
- 村民が守り崇めてきた『月瀬の大杉』や矢作川沿いの美しい自然環境を適正に保護・保全し、後世に引き継ぐ必要がある。
- 歴史・文化・自然資源は、村の活性化に資する重要な資源として、地域でその価値を共有し活用する必要がある。
- 既存観光スポット周辺の魅力を高めるとともに、各観光スポットの有機的な連携や、観光客の適正誘導を図ることにより、相乗的に交流人口を拡大していく必要がある。
- 村全域で、かつ村民みんなで、訪れる人へのもてなしの雰囲気を高めていくことにより、地域活性化につなげていく必要がある。

将来ビジョン（中長期）

- 『第4次根羽村総合計画』一掃りと希望の持てるふるさと根羽村
 - ・森林の多面的利用の推進に向け「スーッと気が休まるようなそんな一角を森の中に整備すること」、都市との共生・対流の促進に向け「根羽村にずっと居たくなるような根羽村桃源郷空間の創設を図ること」を位置づけている。
- 『根羽村過疎地域自立促進計画書』一緑と自然を生かしたゆとりと安らぎのある村づくり
 - ・観光振興に向け「手付かずの観光スポットが多くあることから、赤坂周辺地区（ネバーランド周辺）の整備や大杉公園、茶臼山キャンプ場整備などを行い、各施設を有機的に結びルート化していくこと」を位置づけている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値			
				従前値	基準年度	目標値	目標年度
1観光バスの立寄り台数	台/年	『月瀬の大杉』の駐車場に立ち寄る観光バスの台数	大杉周辺の観光機能の充実や情報発信等により、バスツアーの立ち寄りが促進され、交流人口の拡大につながる	0台/年	平成22年度	70台/年	平成28年度
2観光回遊率	%	ネバーランド来訪者のうち、『月瀬の大杉』にも立ち寄ったことのある人の比率	観光マップ作成やサインの充実等により、観光スポットの連携を強めることにより、観光客の回遊性が高まり、交流人口の拡大が図れる	38%	平成21年度	76%	平成28年度
3宿泊客の拡大	人	茶臼山キャンプ場の宿泊利用者数	バンガローの整備より宿泊客の利用者が増え観光地の活性化が図れる	1,624人	平成22年度	3,000人	平成28年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針① 根羽桃源郷としてふさわしい『月瀬の大杉』周辺の機能整備 ●『月瀬の大杉』周辺は、歴史的な趣や厳かな風情を醸し出す空間として質を高めるとともに、写真撮影スポットとして修景を整えるため、植栽配置の見直しや、サイン、照明施設の整備等を行う。また、多目的に利用できる広場を整備し、イベントやお花見、祭りや伝統芸能など文化等を発信する拠点とする。 ●国道沿いに駐車場やトイレ、サイン等を設置し、『月瀬の大杉』へのエントランス空間とする。また、エントランスと大杉方面を結ぶ遊歩道(吊り橋含む)を整備し、大杉へのアクセス性を確保する。 ●『月瀬の大杉』の根の保護を図るため村道幹Ⅰ-1号線の改修を行う。また、落雷被害を避けるため大杉に避雷針を設置する。 ●『月瀬の大杉』周辺に整備する多目的広場等において、村内外からの来訪を見込むイベント等を行うことにより、多くの人に『月瀬の大杉』を周知するとともに、本地区に対する親しみと愛着の醸成をめざす。また、大杉の神聖さや村民のもてなしの心、里山を大切にしてきた村の思想・魅力を発信する場としてイベントを活かす。 ●他の観光スポットとの連携を図りつつ『月瀬の大杉』へ観光客を適正に誘導するため、案内板の充実を図る。 ●『月瀬の大杉』をはじめ村内観光スポットをPRするため、観光マップを作成する。	●地域生活基盤施設《基幹》—広場(駐車場・サイン・照明施設含む)の整備 ●公園《基幹》—大杉公園の整備 ●高質空間形成施設《基幹》—トイレの整備 ●道路《基幹》—村道幹Ⅰ-1号線の整備 ●道路《基幹》—(仮称)村道西100号線(遊歩道・吊り橋)の整備 □避雷針の設置《提案》 □イベントの開催《提案》 ●地域生活基盤施設《基幹》—サイン(園外)の設置 □観光マップの作成《提案》
整備方針② 既存観光スポット周辺の魅力向上と観光スポット間の連携機能の強化 ●ネバーランド周辺の国道153号沿いは、来訪者にもてなしの雰囲気第一印象として与える空間として修景整備を行う。 ●隠れた観光スポットである『月瀬の大杉』周辺は、地区の魅力を高める整備を行う。 ●他の観光スポットとの連携を図りつつ『月瀬の大杉』へ観光客を適正に誘導するため、案内板の充実を図る。 ●『月瀬の大杉』をはじめ村内観光スポットをPRするため、観光マップを作成する。	●地域生活基盤施設《基幹》—既存観光スポット周辺の修景整備 ●地域生活基盤施設《基幹》—広場(駐車場・サイン・照明施設含む)の整備 ●公園《基幹》—大杉公園の整備 ●道路《基幹》—(仮称)村道西100号線(遊歩道・吊り橋)の整備 ●高質空間形成施設《基幹》—トイレの整備 ●地域生活基盤施設《基幹》—サイン(園外)の設置 □観光マップの作成《提案》
整備方針③ ゆったり過ごせる空間づくり整備 ●茶臼山キャンプ場に修学旅行者や観光旅行者を集客できるバンガローを建設し根羽村にゆったり過ごせる環境を整備する。 ●『月瀬の大杉』、「ネバーランド」といった村の観光名所との連携を強化し集客率アップを目指す。	□バンガローの整備《提案》—茶臼山青少年旅行村に整備
その他 ○交付期間中の計画管理について ・交付期間中は、村の取り組みを村民等へ周知し、整備後の利用促進や親しみ・愛着の醸成等を図るため、村ホームページ等を活用して整備の進行状況等を広報する。 ○村民参加による事業実施について ・イベントに植樹会を組み込み、村民参加により地区周辺の修景整備を行う。	

都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

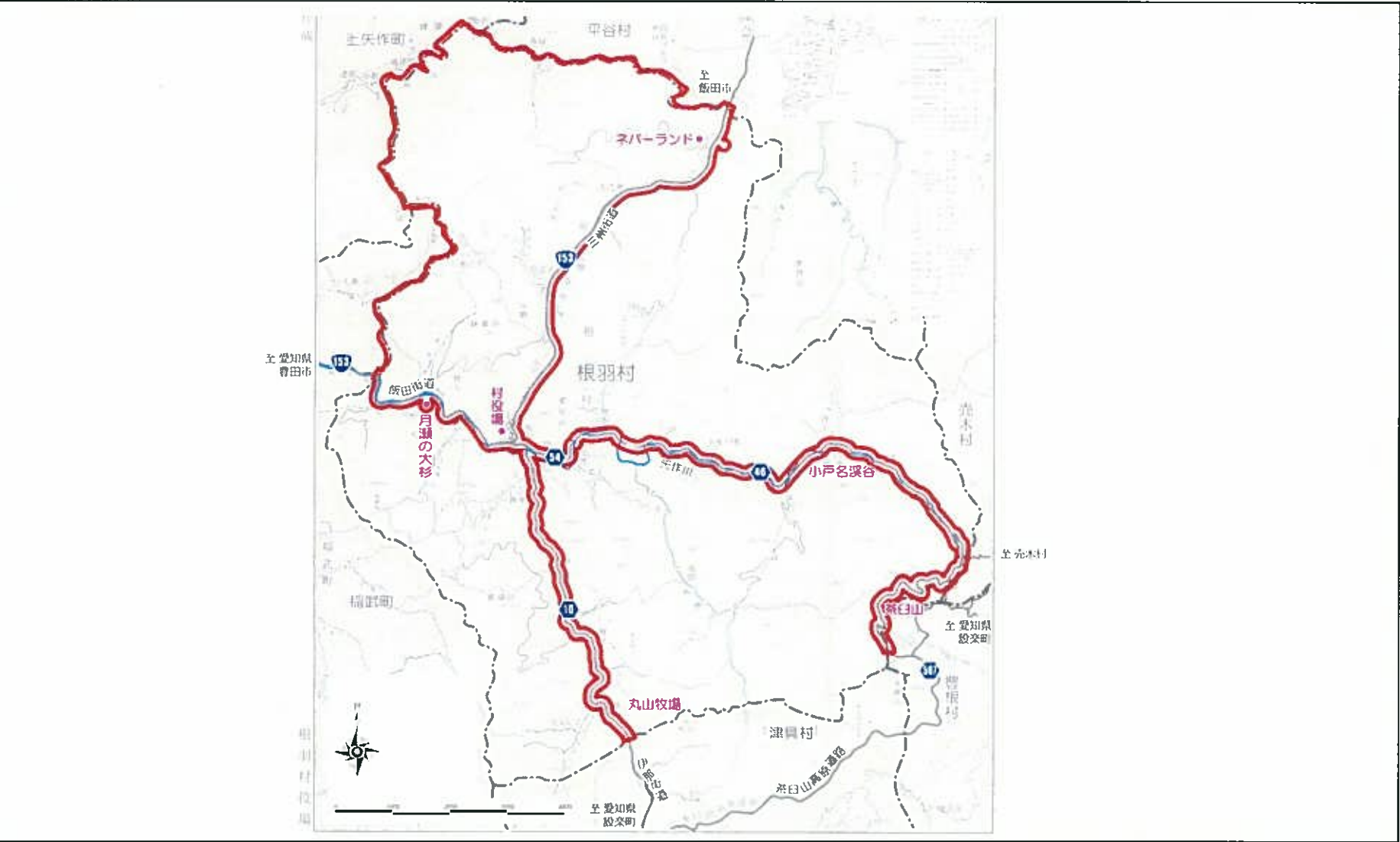
つき せ ちく
月瀬地区

ながの
(長野県

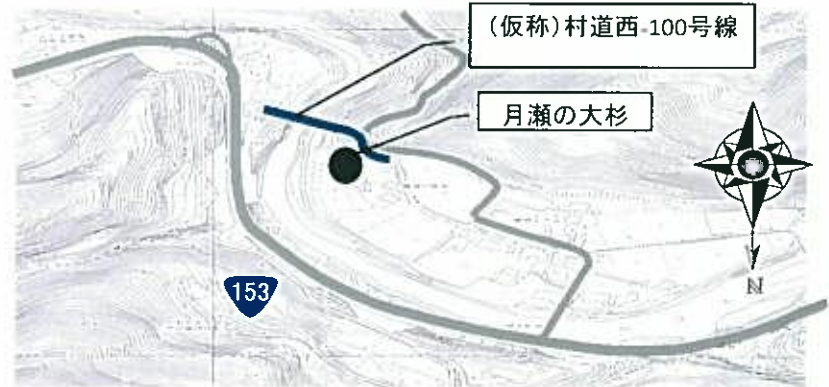
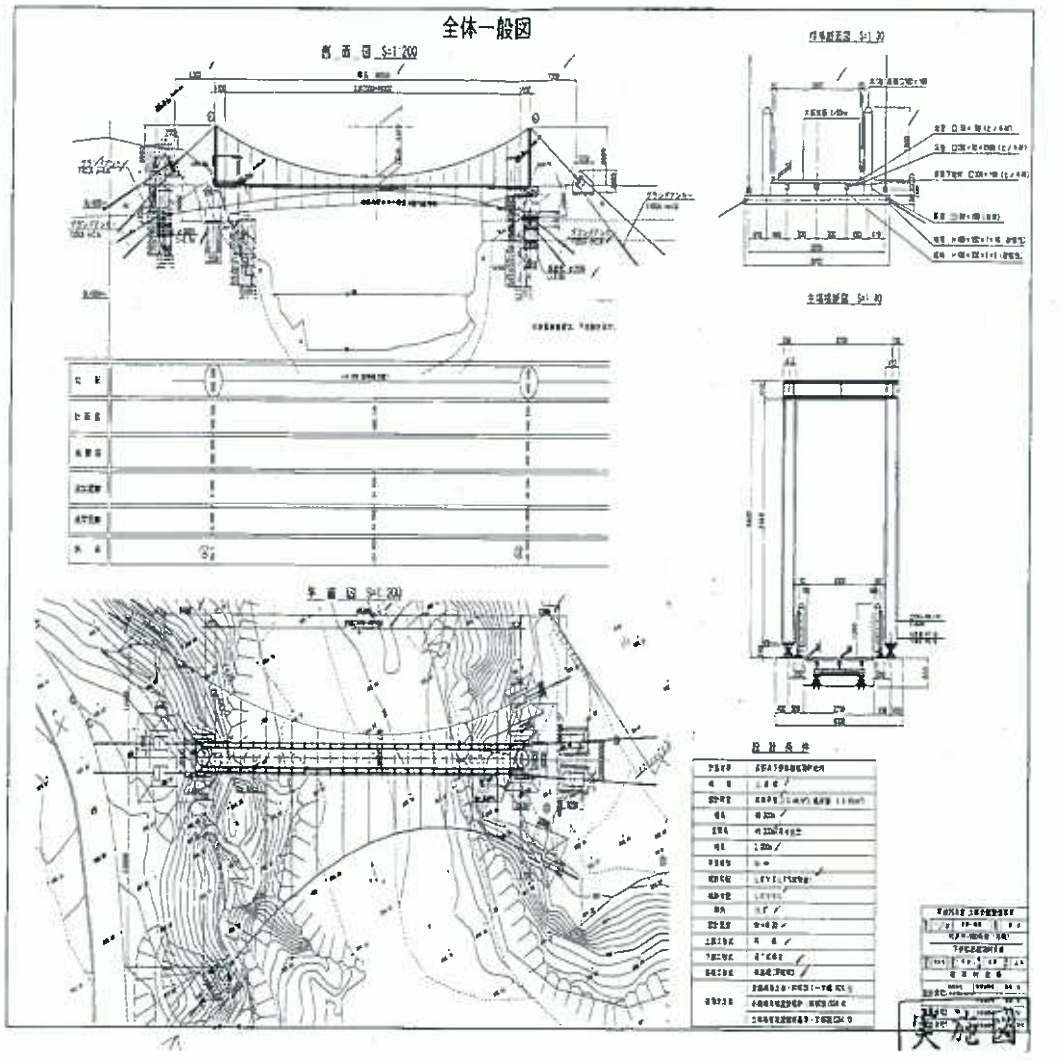
ねばむら
根羽村)

都市再生整備計画の区域

月瀬地区(長野県根羽村)	面積	2,360 ha	区域	根羽村日向、平、初入、万場瀬、上町、大畑、小川、中野、横旗、取手、市之瀬、高橋、坂町、黒地、向黒地、莢野、小戸名、田島、新井、檜原の一部及び池之平の全部
--------------	----	----------	----	--



道路((仮称)村道西-100号線(遊歩道・吊り橋))



吊り橋の完成図



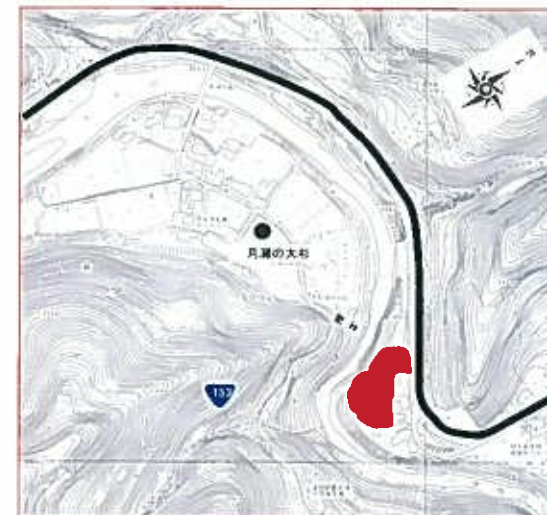
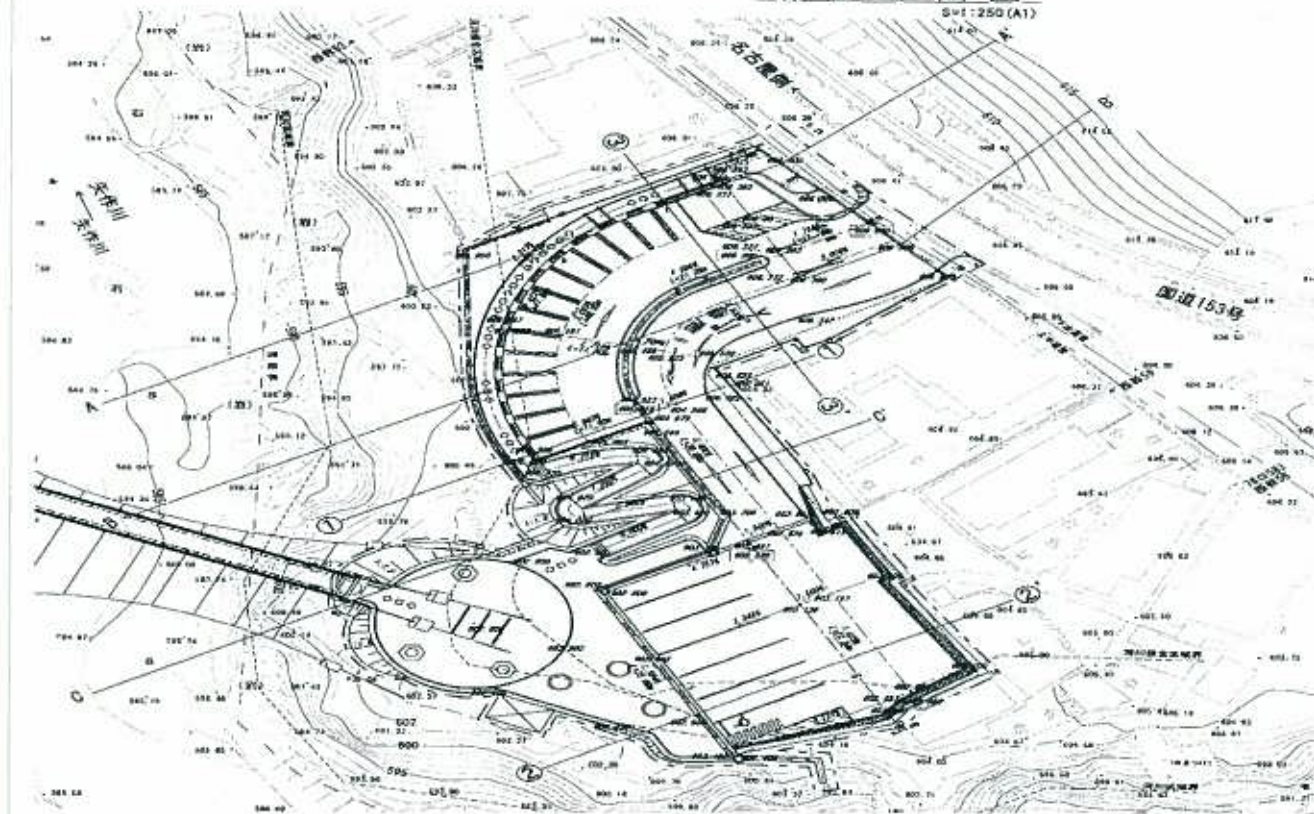
地域生活基盤施設 大杉広場 駐車場



国道153号側から見た整備イメージ

計画平面図

Scale: 1:250 (A1)



広場・駐車場
A=2,700m²

Topographic map of the area around the existing scenic spot. The map shows contour lines, a river, and various buildings. A red line indicates the management road. A blue line indicates the management parking lot. A yellow shaded area indicates the material storage area. Arrows point from the labels to the corresponding features on the map.

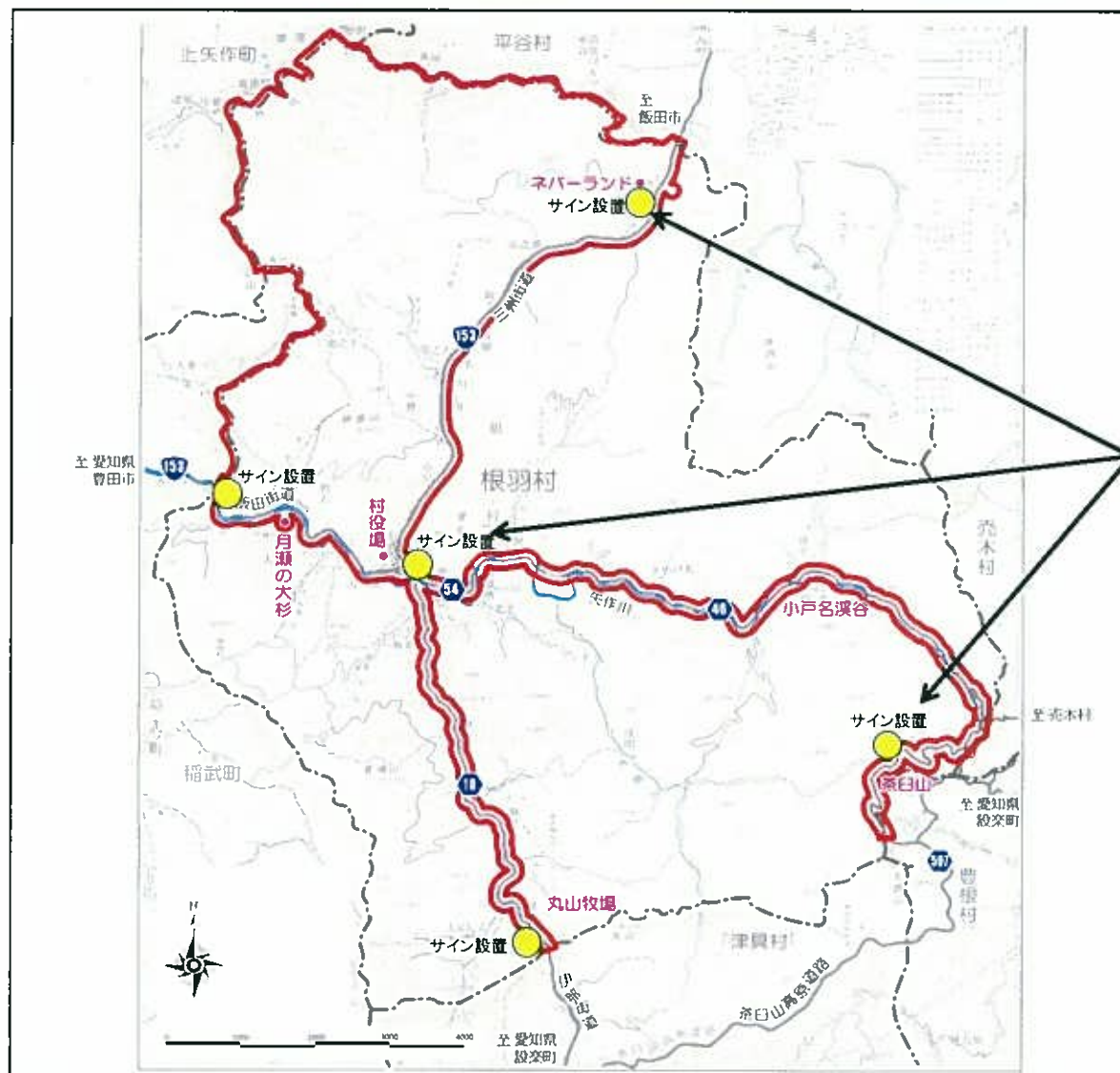
既存観光スポット周辺の修景整備

管理道路

管理駐車場

資材置き

地域生活基盤施設（サイン整備(園外)）



園外サインの設置イメージ



※メーカーカタログより引用

地域生活基盤施設（大杉公園）



サイン◎ 2箇所

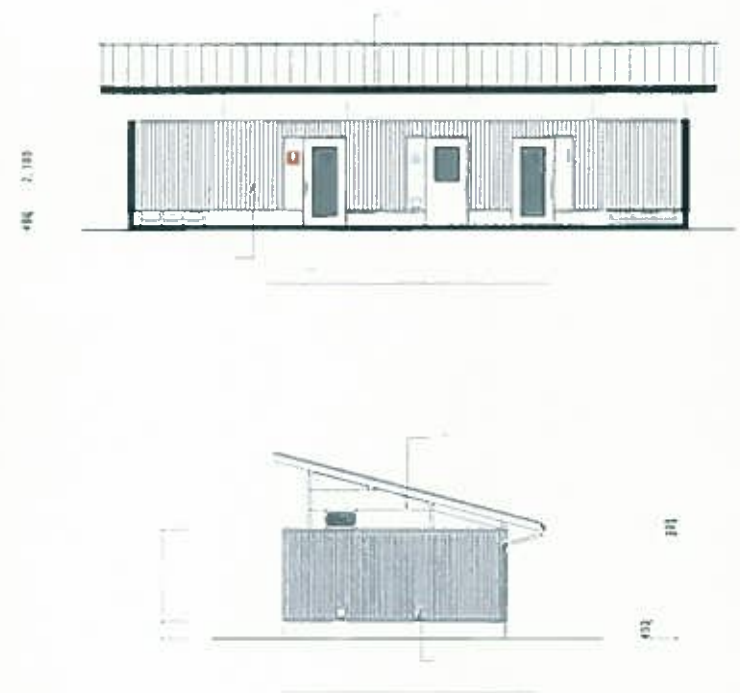
照明★ 10箇所

公園 A=15,000m²

高質空間形成施設（バリアフリー対応トイレ整備）



トイレの立面図

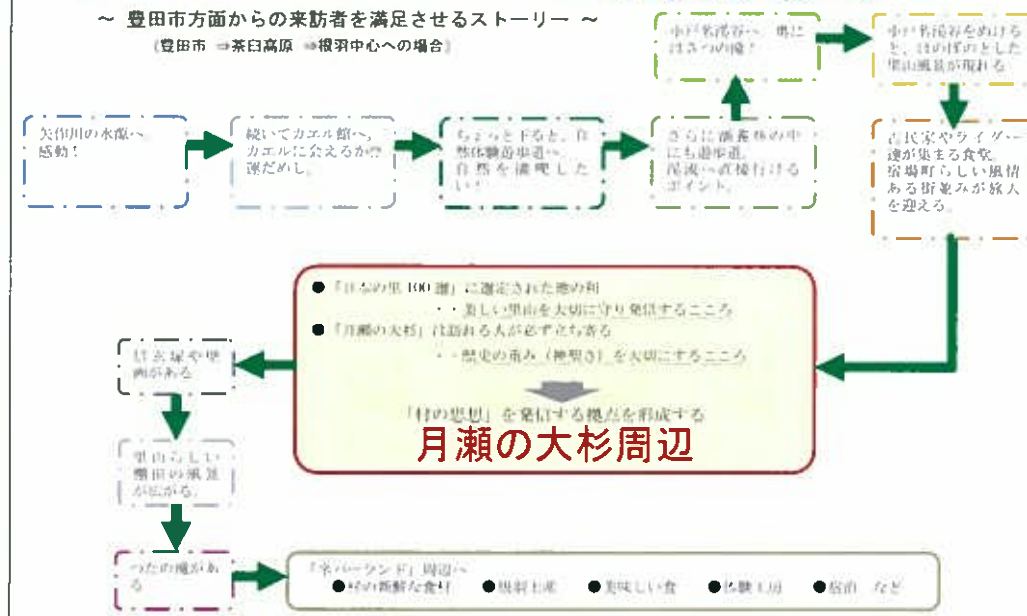


地域創造支援事業（観光マップの作成）

里山風景の移り変わり・名所等を“ストーリー性（流れ）”を持たせて紹介する“マップ”

～ 豊田市方面からの来訪者を満足させるストーリー ～

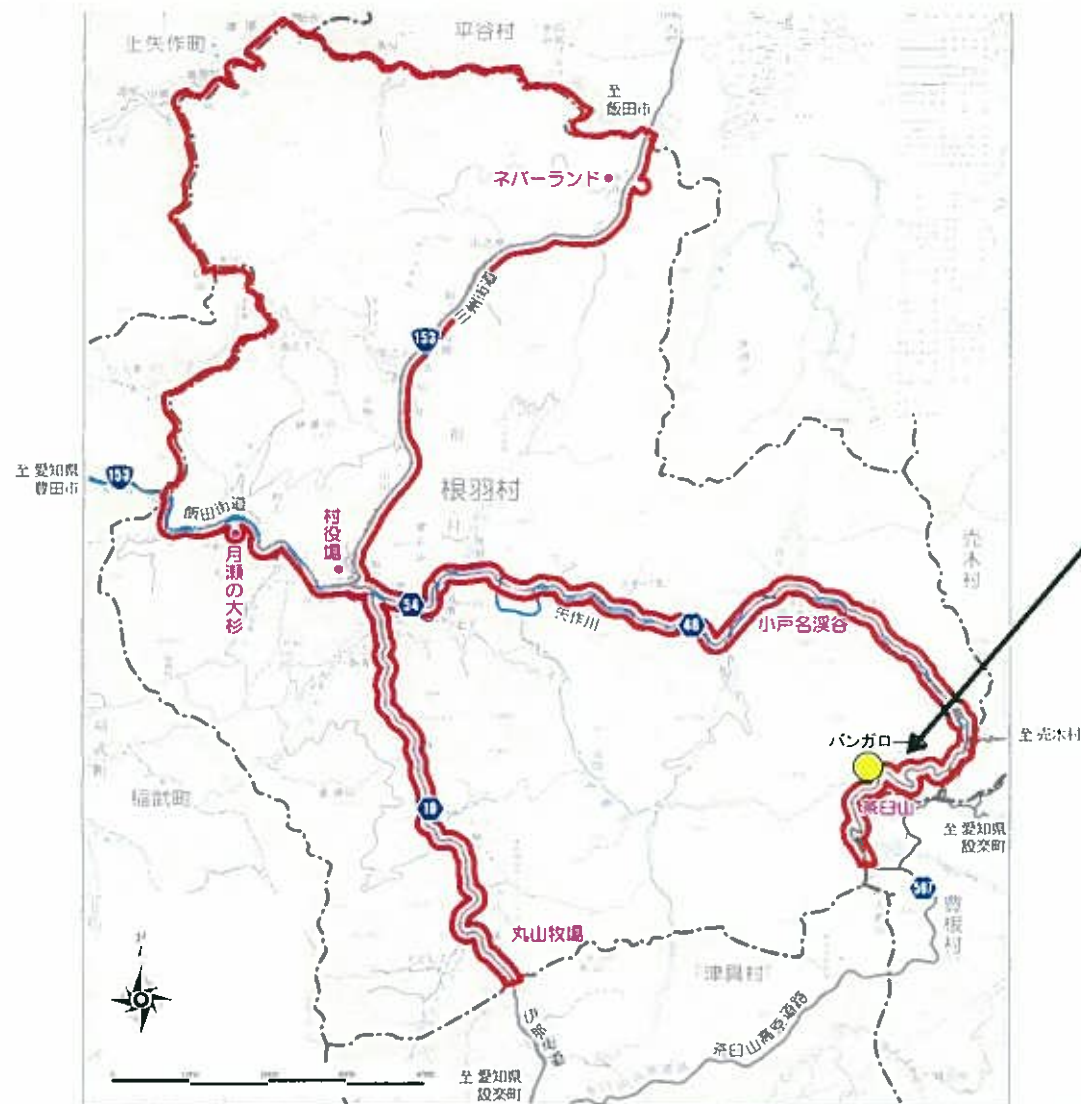
（豊田市 → 茶臼高原 → 根羽中心への場合）



観光マップのイメージ



地域創造支援事業(バンガロー整備)



バンガローの完成全景写真



写真上:湖畔側 下:玄関

平成25年度完成

地域創造支援事業（イベントの開催）



植樹会のイメージ



文化的祭典のイメージ



